

令和4年3月22日 部長会議 会議録（要旨）

- 日 時 令和4年3月22日（火）午前9時30分～午前10時53分
- 会 場 市役所 応接会議室・庁議室
- 出席者 市長、副市長、教育長、総務部長、企画政策部長、市民環境部長、健康福祉部長、次世代支援部長、経済部長、建設部長、議会事務局長、教育部長、総務課長、総合政策課長、財政課長、秘書広報課長、秘書係長

1. 開 会

2. 市長訓示

- 本日は、3月議会終了後の部長会議となるが、議会中は議員から様々なご指摘をいただいた。その中で、令和4年度当初予算、第三次千曲市総合計画を可決・承認いただいたことから、新年度からはギアを上げていただき事業を進めてほしい。
様々な課題に向き合うためには、全庁一丸となって取り組む必要があることから、基本的なことではあるが、「報・連・相」を徹底するよう改めて指示をしていただきたい。
また、本日は人事異動の内示があるが、引き継ぎ等をしっかりとお願いしたい。
新型コロナウイルス感染症については、まん延防止等重点措置が解除されたが、警戒レベル5であることから、感染防止対策を徹底するよう職員への指示をお願いしたい。

3. 会議事項

（1）令和4年第1回市議会（3月）定例会委員会における課題と今後の対応【各部】

◆説 明

（各部長から委員会における質問、答弁要旨、今後の課題、具体的対応策を報告）

◆協議結果

- 情報共有。

（2）借上バス使用負担金基準について【総務部】

◆説 明【総務課長】

- 行政改革の観点から、バスの使用台数の削減や参加者バス使用負担金の徴収に取り組むこととし、財政健全化を図りたいと考えている。そこで、以前から検討してきた借り上げバス使用料の参加者からの徴収について、令和4年度から取り組むこととしたい。
- 借り上げバス使用負担金を徴収する対象事業は、市が主催する公民館行事、会議イベント、研修等のうち参加者の移動手段としてバス事業者からバスを借り上げて実施する行事とするが、児童又は生徒が参加する学校行事、保育及び障がい者福祉の行事、その他介助者等を必要とする行事については徴収の対象としない。

【庶務係長】 （資料により説明）

◆主な意見・質疑等

- 負担金を徴収することは、道路運送法や旅行業法に抵触しないのか。

【回答】 バス会社が所有するバスを借り上げることから、問題ないと思われるが、法の解釈について顧問弁護士に相談したい。

- 負担金は実費徴収ということで良いか。

【回答】 そのとおり。

- 1人当たりの負担金の積算根拠を明確にすること。

【回答】 承知しました。

◆協議結果

- 了承。（今後、内容を精査する中で詳細については検討する。）

(3) 千曲市公共施設等総合計画（改訂案）等について【総務部】

◆説明【財政課長】 【資料 1-1、1-2、1-3、1-4】

- 今年度より改訂作業を進めてきた千曲市公共施設等総合計画（改訂案）について、パブリックコメントを実施し、その結果を市議会総務文教常任委員会に報告した。2名の人から提案があり、一部の提案については計画に反映し、関連する項目を追加した。

本日、追加した内容について協議いただき、了承いただければ理事者決裁後に本計画を公表したい。

また、千曲市公共施設等総合計画の改訂に併せ、千曲市公共施設再編計画を一部改訂する。改訂の内容は、施設類型と再編の方向性を総合管理計画との整合を図るための見直しが主なもの。併せて、個別施設計画もローリング作業を行い、新年度予算を反映させた令和4年度版の計画と工程表を作成した。

今年度内に行うこととしていた地元譲渡対象施設の地元説明会及び要望聴取については、所管課に対応いただいたので、その進捗状況を報告する。

【行政改革推進係長】 （資料により説明）

◆協議結果

- 了承。

(4) 千曲市道の駅（地域防災拠点）設置可能性概要調査の報告等について【企画政策部】

◆説明【総合政策課長】 【資料 2-1、2-2、2-3】（資料により説明）

- 道の駅については、市議会からの質問に対し、今年度中に具体的な場所・規模等を明記した資料をお示しすると答弁していることから、それに基づき、道の駅設置可能性の概要調査を行った。

道の駅の概要については、国土交通省では第3ステージとして、新たなコンセプトや2025年に目指す3つの姿を取りまとめている。

〈新たなコンセプト〉

「地方創生・観光を加速する拠点」+「ネットワーク化」

〈2025年に目指す3つの姿〉

- ①「道の駅」を世界ブランドへ
- ②新「防災道の駅」が全国の安心拠点到（広域防災、地域防災の機能強化）
- ③あらゆる世代が活躍する舞台となる地域センターに

千曲市周辺における道の駅の整備状況については、県内には52の駅があるが、人口密度の高い長野市（中条、信州新町、大岡は除く）、千曲市、須坂市、坂城町にはない。

防災道の駅については、昨年6月に全国で39駅が初めて選定された。選定要件は、県が策定する広域的な防災計画（地域防災計画もしくは受援計画）に位置づけられていなければならない。建物の耐震化など防災機能や2,500㎡以上の駐車場を備えていること、業務継続計画（BCP）が策定されている等の条件がある。

千曲市の目的と整合する道の駅については、7つの駅（「川場田園プラザ」、「もてぎ」、「とみうら」、「萩しーまーと」、「あらい」、「どまんなか たぬま」、「ららん藤岡」）を参考とする道の駅を選定した。今後は視察等も行っていきたい。

コンセプトは、活力ある地域社会の創造として、①地域防災拠点②生活関連拠点③産業振興拠点④観光情報拠点の4つを掲げ、収益性の高い持続可能な多機能拠点を目指す。

テーマは稼ぐ力、キーワードは100万人が集う駅とする。

道の駅の課題は、約3割は赤字と言われており、補助金・助成金で黒字としている駅も多い。赤字の原因は、①財務②収益③運営に集約されることから、この3つが整うことが非常に重要となる。課題解決については資料のとおり。

千曲市「道の駅」候補地の選定については、①路線種別②路線交通量③敷地規模確保を具体的な選定指標として、①県道長野上田線さらしなの里古代体験パーク北側②八幡地区国道18号バイパス周辺③屋代地区開発地域付近の3箇所を該当エリアに選定した。該当エリアについて、定量評価と定性評価を行った結果、「八幡地区国道18号バイパス周辺」が候補地の最適地となった。

道の駅については、基本的には市町村が設置するもの(県や第三セクターという場合もあり。)であり、整備方法は、道路管理者と市町村で整備する「一体型」と市町村で全て整備を行う「単独型」の2種類がある。

長野県建設部道路管理課及び国土交通省関東地方整備局長野国道事務所との意見交換では、「一体型」の整備や「防災道の駅」としての整備を短期間で行うことは現状では難しいのではないか、とのご意見をいただいている。

今後は、引き続き企画政策会議で協議・検討する中で千曲市としての方向性を決定し、その結果を部長会議に報告したい。

◆主な意見・質疑等

- 市として、「道の駅」とするのか「防災道の駅」とするのか、真に必要なもの(施設等)は何かを検討し、しっかりと方向性を決めて進めるべきと考える。

◆協議結果

- 了承。

(5) 令和4年4月1日付定期人事異動について【総務部】

◆説明【総務部長】 (資料により説明)

◆協議結果

- 了承。

4. 各部課長からの報告事項等について(主なもの)

【総務部長】

《情報共有》

- ・障がい者雇用について

【企画政策部長】

《情報共有》

- ・第三次千曲市総合計画 令和3年度実施計画(令和4年度～令和8年度)について
- ・過去3か年分の実施計画の公表について

【市民環境部長】

《情報共有》

- ・竹林の湯の営業再開について

【健康福祉部長】

《情報共有》

- 新型コロナウイルス感染症関連
- ・市内の陽性者の状況について
- ・3回目のワクチン接種状況について
- ・5歳から11歳のワクチン接種について

【次世代支援部長】

《情報共有》

- ・市内保育園の卒入園式日程について
- ・市内保育園の待機児童について

【経済部長】

《情報共有》

- ・第67回あんずまつりについて
- ・善光寺大本願別院（城泉山観音寺）御開帳について
- ・月の都 ちくま割（第2弾）について

【経済部長】

《情報共有》

- ・屋代地区まちづくり構想（案）に伴う庁内会議開催について

【教育長】

《情報共有》

- ・市内小中学校の卒業式の状況について
- ・市内小中学校の入学式について

【秘書広報課長】

《情報共有》

- ・令和4年度「市報編集委員」の推薦について

【市長】

- 国や県、政党等、市長会への要望については、建設事業関連以外の他の分野についても積極的に上げてほしい。

5. 閉 会